



## 研究テーマ

若齢動物の疾病予防に関する調査・研究

動物舎内外環境改善に関する調査・研究

越境性産業動物伝染病の防疫に関する調査・研究



## 末吉 益雄

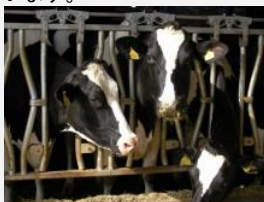
すえよし ますお  
産業動物防疫リサーチ  
センター  
防疫戦略部門

副センター長  
防疫部門長  
教授  
キーワード

牛、豚、鶏、馬、下痢、予防、  
抗菌剤、生菌剤、プロバイオ  
ティクス、浮腫病、大腸菌、ロ  
ーソニア、口蹄疫、高病原性  
鳥インフルエンザ、豚流行性  
下痢、PED

特許情報・  
共同研究・  
応用分野など

(独)動物衛生研究所、農業共  
済組合、開業獣医師、家畜保  
健衛生所、ワクチン開発・製  
薬企業と共同研究を実施して  
います。



## 研 究 概 要

牛、豚、鶏、馬などの産業動物の疾病予防獣医学調査・研究を実施しています。特に、病気に弱い若齢動物に影響する病原因子の排除、抗病性の賦与、快適な環境づくりを調査・研究しています。

宮崎県では、口蹄疫、高病原性鳥インフルエンザそして豚流行性下痢(PED)がアウトブレイクしました。今尚、脅威に曝されています。これらの悪性伝染病のアジア等近隣諸国の発生状況を警戒しつつ、日常的に、動物環境の衛生管理を適切に実行し、畜産経営の向上と安定化に寄与することを目的としています。

安全な「食」の安定供給は国家の礎です。それを保持するための研究をしています。

## 1 若齢動物の疾病予防に関する調査・研究

哺乳期から離乳期の子馬、子牛あるいは子豚が下痢、肺炎を発症し、死亡あるいは発育不良となっています。その原因には、病原大腸菌、ロタウイルス、コクシジウム、クリプトスポリジウム、クロストリジウム、ブラキスピラ(大型らせん菌)やローソニア(小型のカンマ状菌)あるいはサルモネラなどが関与しています。当研究室では、この感染症防除には何が有効か、どのような治療あるいは予防が効果的か、等の試験を実施しています。

## 2 動物舎内外環境改善に関する調査・研究

動物舎内の環境改善は、飼育動物と飼育従事者の健康保持のために必要です。また、動物舎外への排気は大気汚染・異臭に関連するため、周辺環境改善として重要です。それに寄与するため光触媒資材、殺菌、消臭剤など利用して、アンモニアガス抑制、浮遊菌数低減化の研究に取り組んでいます。

## 3 越境性産業動物伝染病の防疫に関する調査・研究

口蹄疫、高病原性鳥インフルエンザあるいは豚流行性下痢(PED)の発生予防、発生時の初動防疫について、戦略的に活動中です。平常時の防疫演習用に動画防疫マニュアルを制作・編集し、希望者に配付しております。



## ホームページ

産業動物防疫リサーチセンター防疫戦略部門

<http://www.miyazaki-u.ac.jp/cadic/index.php>

産業動物衛生学研究室

<http://www.agr.miyazaki-u.ac.jp/~vet/hygiene/HP/index.htm>

技術相談に応じられる関連分野

産業動物衛生関連

メッセージ

現在、宮崎大学産業動物防疫リサーチセンター防疫戦略部門専任と大農学部獣医学科産業動物衛生学研究室兼任の二足の草鞋で活動しています。学内で実際に豚を飼育し、動物環境の快適性を探りつつ、学生教育に活用し、豚をもっと身近な動物として親んでもらいます。